

映画『原爆症認定集団訴訟記録 おりづる』上映会

2003年の春に、日本の被爆者が被曝してから60余年後に「私の病気を原爆症と認めてほしい」と日本政府相手に全国の地方裁判所17カ所で訴訟を起こしました。原爆症認定集団訴訟です。裁判は勝訴し、政府厚労省に対し、原爆症と認め必要な援護策を講ずるようとの判決を下されました。一定の改善をはかったものの司法が示した判断に従わず、いまだ政府は被爆者の声に耳を傾けようとしません。その後の福島原発事故、そして核廃絶の運動の高まりの中、あらためてこの映画は多くの示唆を与えてくれます。ぜひご鑑賞ください。

《日時》2018年8月18日(土)

- ・第1回目 13時40分～ (13:25 入場可)
- ・第2回目 15時20分～ (15:05 入場可)

《参加費》 無料

どなたでも参加可
必ず事前申込みください。
定員になり次第締め切らせていただきます

《会場》せんだいメディアテーク
7階 スタジオシアター

《作品介绍》



作品は、集団訴訟にいたる経過からその終結までを追いつつながら、原告被爆者たち、弁護士、証人となった医師や科学者、そして判決を書いたもと裁判官たちへのインタビューを丹念に重ね、ときに囚入りの動画で次のようなテーマを平明に紹介して行きます。

- ★原告被爆者たちが集団訴訟に立ち上がらざるを得なかった背景。
 - ★放射線の人体への影響。
 - ★裁判官はなぜ、原告被爆者の主張を認めたのか。
 - ★政府は被爆者の救済になぜ消極的なのか。
 - ★集団訴訟は、福島原発後に生きねばならぬ人々にとって、どんな意義があったのか。
- など。(2013年作品 上映時間73分)

申込み：宮城県保険医協会事務局まで電話かファックス(要申込)。
〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-1-29 ホンマビル 4階
電話 022-265-1667 FAX022-265-0576
主催：核戦争を防止する宮城医師・歯科医師の会

2018年8月18日(土) 核戦争を防止する宮城医師・歯科医師の会 上映会

お名前		参加人数	1回目 (13:40~)	人
電話番号			2回目 (15:20~)	人

FAX 022-265-0576